

第5章 保健・衛生

1 結核患者数の推移（表1、図1）

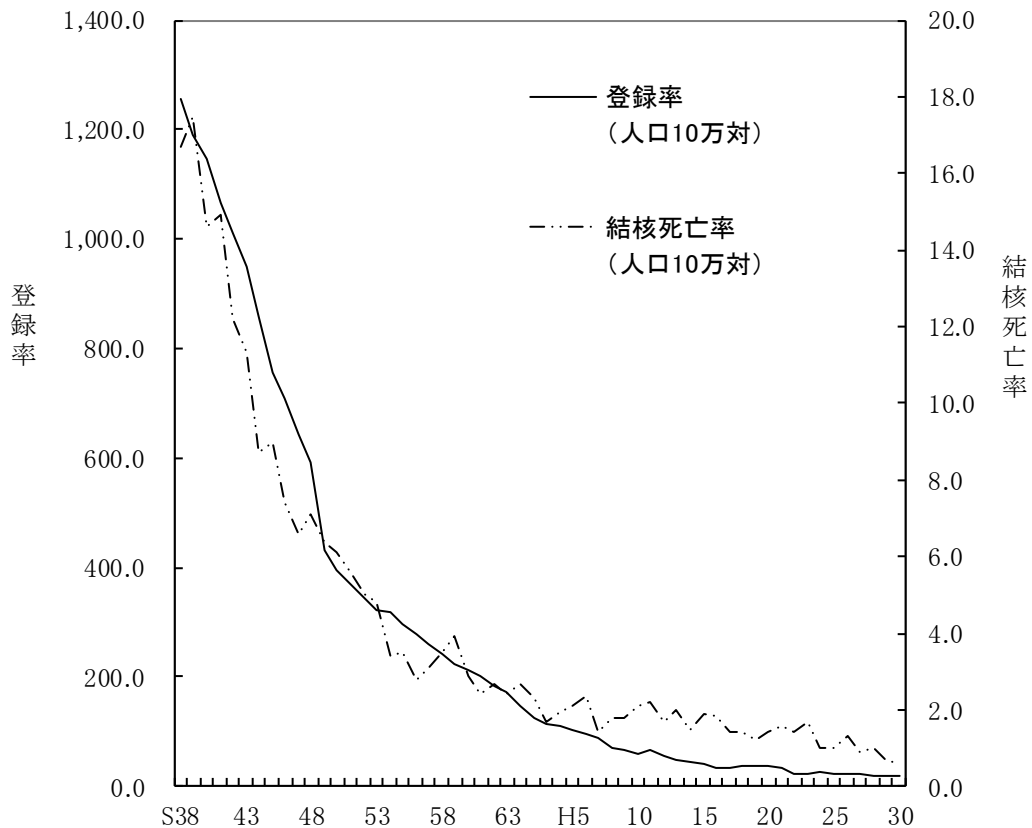
平成30年の結核患者の登録率（人口10万対）は、18.5（前年20.9）と減少傾向にある。
また、結核による死亡率（人口10万対）も減少傾向を示し、平成30年は0.6（前年0.7）となっている。

表1 結核患者数の推移

年次	年末現在 登録患者数	登録率 (人口10万対)	新登録 結核患者数	り患率 (人口10万対)	結核死亡数	結核死亡率 (人口10万対)
平成30	360	18.5	171	8.8	11	0.6
29	409	20.9	184	9.4	13	0.7
28	410	20.9	183	9.3	19	1.0
27	446	22.6	192	9.7	18	0.9
22	483	24.1	220	11.0	29	1.4
17	693	34.2	296	14.6	28	1.4
12	1,164	57.5	438	21.6	34	1.7
7	1,750	87.3	521	26.0	29	1.4
昭和60	4,028	211.7	658	34.2	56	2.9
55	5,475	296.2	953	52.0	64	3.5
50	6,932	394.7	1,237	70.0	108	6.1
45	12,575	758.0	1,709	103.0	149	9.0

【出典】結核登録者情報システム

図1 登録率（人口10万対）、結核死亡率（人口10万対）の推移



【出典】結核登録者情報システム

2 人工妊娠中絶件数の推移 (表2、図2)

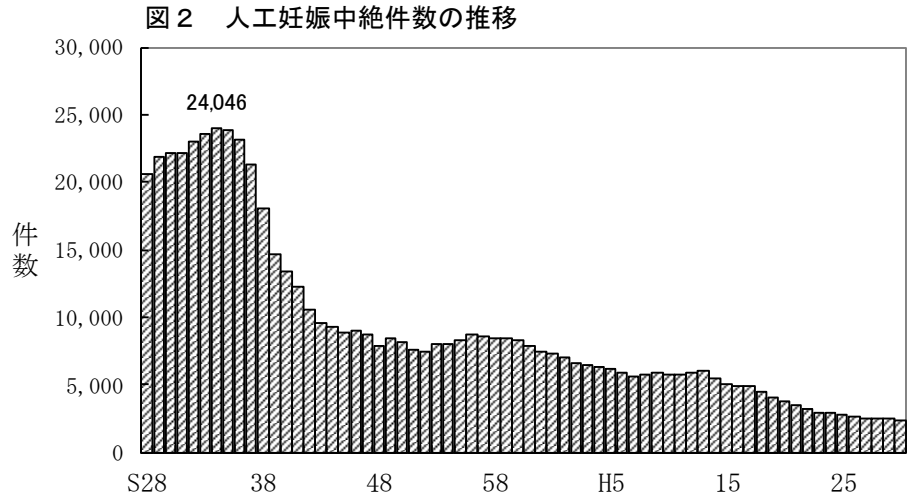
人工妊娠中絶件数は、昭和34年の24,046件をピークに減少傾向にあり、平成30年度は2,414件となっている。

表2 人工妊娠中絶件数の推移

年次	人工妊娠中絶件数
平成30	2,414
29	2,543
28	2,535
27	2,499
22	3,203
17	4,847
12	5,924
7	5,605
2	6,520
昭和60	8,339
55	8,347
50	8,197
45	8,922
40	13,429
35	23,904
30	22,191

(注)平成14年以降は年度

【出典】衛生行政報告例



【出典】衛生行政報告例

3 食中毒事件数・患者数の推移 (表3、図3)

食中毒事件数は、年次によるばらつきが大きく、平成30年は15件である。

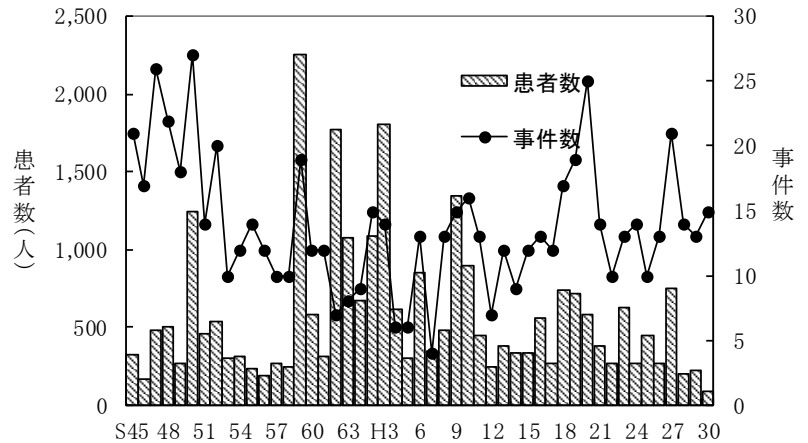
また、食中毒の患者数は、事件の規模により大きく左右されるため、年次により大きく変動している。1事件当たりの患者数をみてみると、過去10年間では15人前後で推移している。

表3 食中毒事件数等の推移

年次	事件数	患者数	り患率 (人口 10万対)	1事件 当たり 患者数
平成30	15	91	4.7	6.1
29	13	219	11.2	16.8
28	14	197	10.0	14.1
27	21	745	37.8	35.5
22	10	264	13.1	26.4
17	12	266	13.1	22.2
12	7	242	12.0	34.6
7	4	341	17.0	85.3
2	15	1084	55.1	72.3
昭和60	12	581	30.2	48.4
55	14	238	12.9	17.0
50	27	1241	70.7	46.0

【出典】食中毒統計

図3 食中毒事件数・患者数の推移



【出典】食中毒統計